

研究開発に向けた調査から実証までを最長3年間支援

可能性調査枠 上限**100**万円 補助率**1/2** 最大**1**年

研究開発枠 上限**1,500**万円 補助率**2/3** 最大**2**年

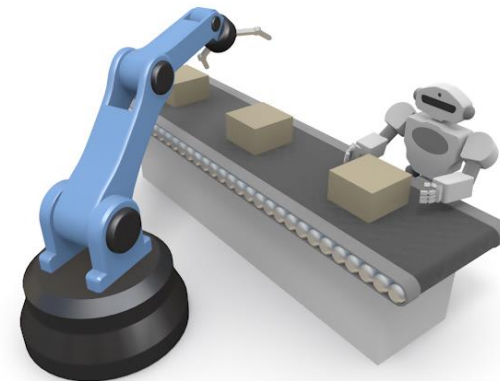
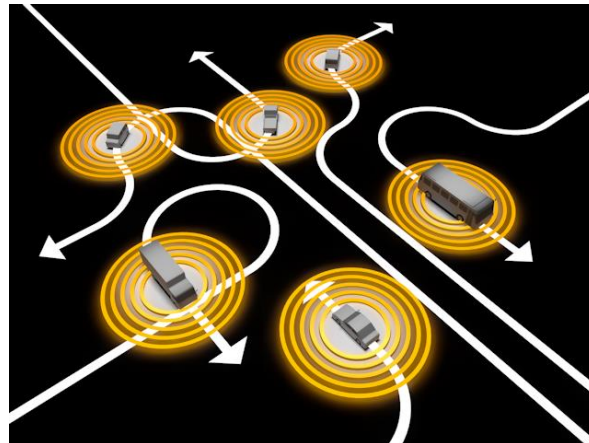
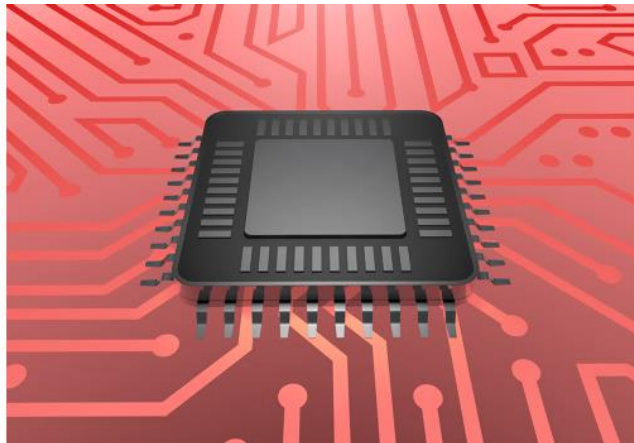
公募期間 令和6年2月27日(火) ~ 令和6年4月10日(水) 17:00

先端技術挑戦プロジェクト 産学連携創出支援事業費補助金

※本補助金は、大分県議会での令和6年度予算の成立が前提となります

公募要領 概要(R6.3版)

大分県 商工観光労働部
先端技術挑戦課 先端技術挑戦班



先端技術挑戦プロジェクト産学連携創出支援事業費補助金とは

県内中小企業が**大学などの高等教育機関**と**コンソーシアム**を組成し**研究開発**を行うための**経費**を補助します。
また、**採択されたプロジェクト**は「**おおいたDXラボ**」において**プロジェクト認定**されます。
※補助上限額、補助率は以下の枠で異なります。

申請種別

可能性調査枠

- 補助額:上限**100**万円
- 補助率:補助対象経費の**1/2**
- 実施期間:最長**1**年間
- 必須要件:**県内企業**が含まれること

研究開発枠

- 補助額:上限**1,500**万円
- 補助率:補助対象経費の**2/3**
- 実施期間:最長**2**年間
- 必須要件:**県内企業、高等教育機関**が含まれること

プロジェクト認定のメリット

- DX推進ラボ**ロゴマーク**を使用できます。
- DX推進ラボ事業において**PR**を行います。
- DX推進ラボが**資金獲得支援、規制緩和要望検討**等のサポートを行います。

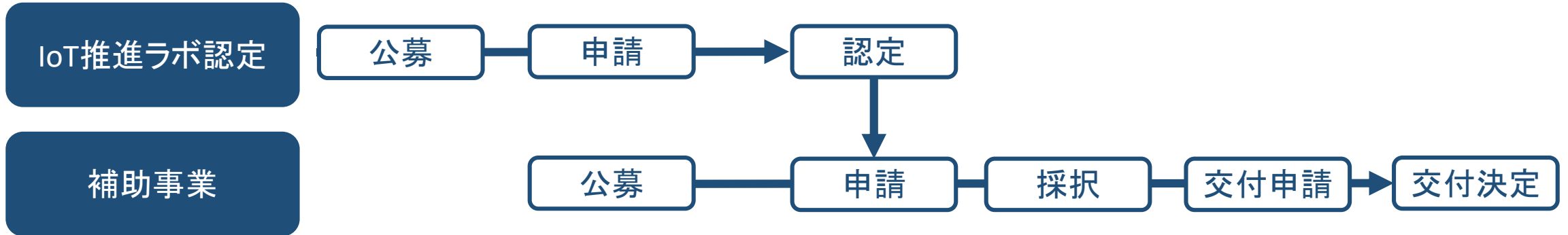
ロゴマーク

おおいたDX推進ラボ

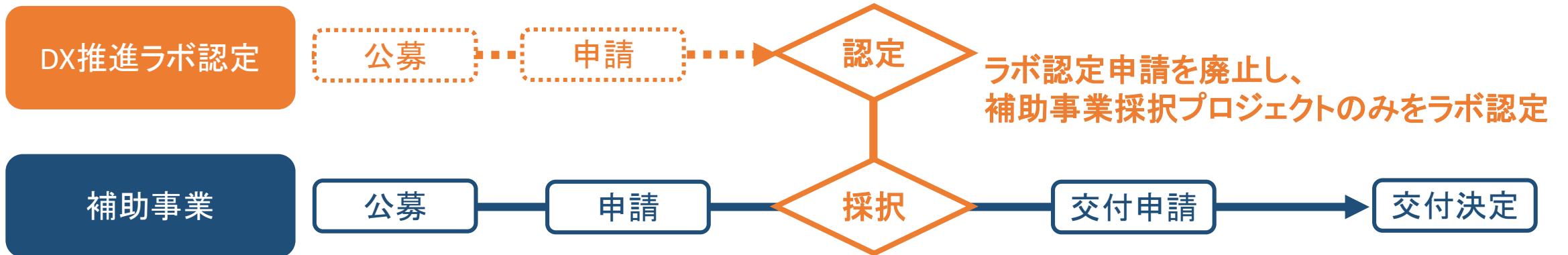


これまでの補助制度との申請スキームの変更点

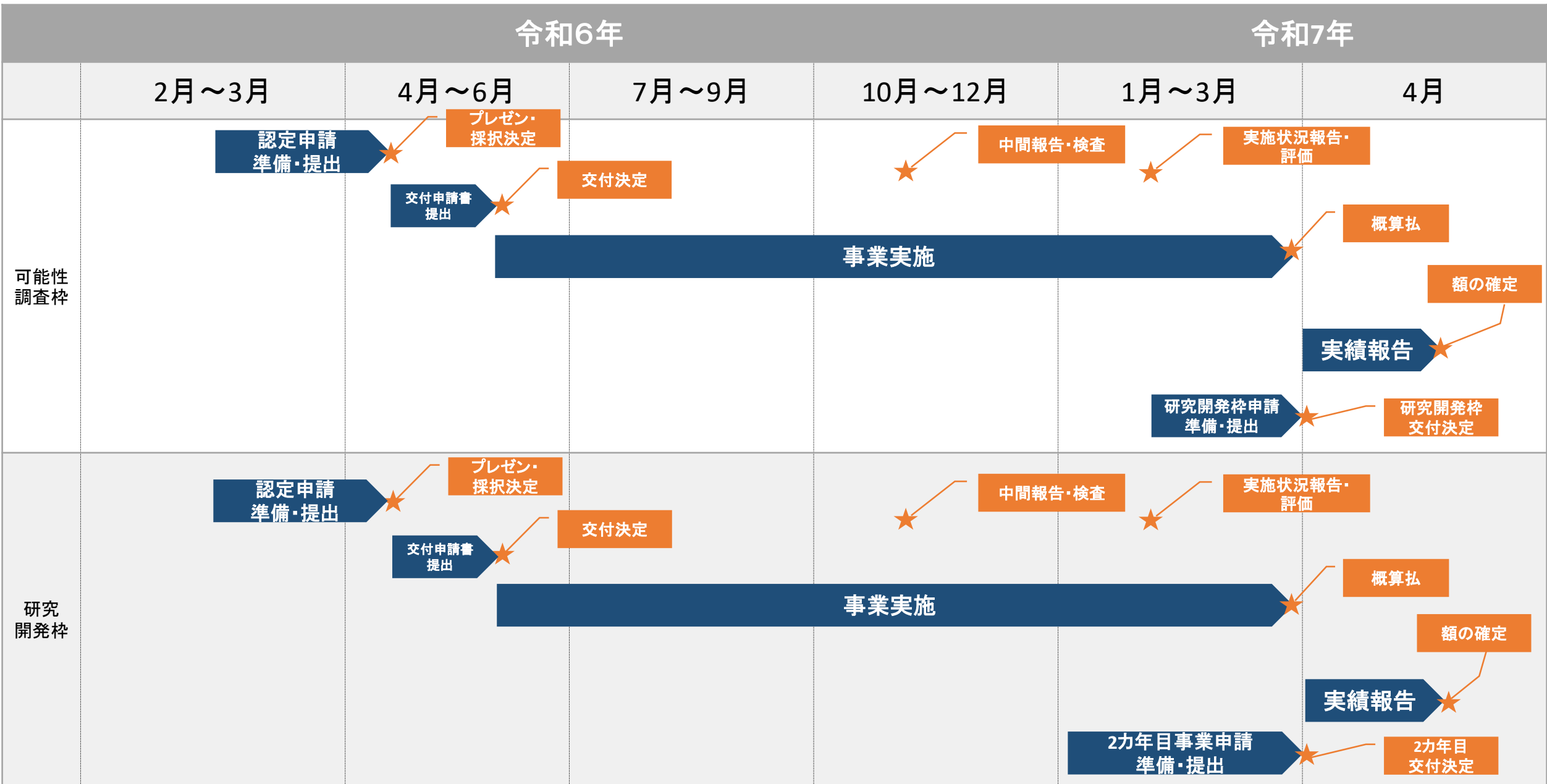
先端技術挑戦プロジェクト加速化補助金（～R5年度）



先端技術挑戦プロジェクト産学連携創出支援事業費補助金（R6年度～）



スケジュールは？



申請に必要な書類は？

認定申請時

① 事業認定申請書

申請書の鑑文となります
こちらで申請枠を記載ください

② 事業計画書

具体的な取り組み内容等を記載

③ 誓約書

自己又は自己の役員等に関する誓約書
※必要に応じて県警に照会

④ 収支予算書

補助対象経費の積算額を記載
※補助事業に係る経費のみ

⑤ 積算根拠

④の積算根拠資料
※見積、人件費計算表等

⑥ 決算書

直近3年間の貸借対照表
・損益計算書等

⑦ 不正行為関与に関する誓約書

コンソーシアムメンバー全ての
会社・学校名 代表名で記載



採択を受けたら

交付申請時

① 交付申請書

申請書の鑑文となります

② 事業計画書

認定申請時の内容を記載

③ 収支予算書

認定申請時のものを記載

④ 全部事項証明書等

法人: 登記事項全部証明書(写)
個人: 住民票(写)

⑤ 積算根拠

③の積算根拠資料
見積、人件費計算表等

⑥ 決算書

直近3年間の貸借対照表
・損益計算書等

⑦ 設備のカタログ等

購入予定の機械設備等の
カタログ

⑦ コンソーシアム協定書

コンソーシアム間の協定書
※可能性調査枠は不要

どんな調査や研究開発の事業が対象？

5つテーマのうち、いずれかの先端技術を活用した地域課題解決型のプロジェクトに関する可能性調査や研究開発が対象事業となります。

テーマ

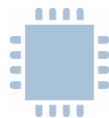
AI(人工知能)



ロボティクス



次世代半導体



環境・エネルギー



新素材・バイオ



事業内容

地域課題

労働者不足、生産性向上等

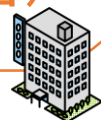
各機関の連携で新産業を創出し、
地域課題を解決

大学

※研究開発枠は必須



県内中小企業
(代表申請者)













県外企業等

(ディープテックSUなど)



どんな経費が対象？

<p>物品費</p> 	<p>(1)設備備品費 機械装置やソフトウェアの製作・購入、自社での保守・改造、レンタル・リース等の経費(耐用年数1年以上、取得価格10万円(税抜)以上のもの) ※1 可能性調査枠は50万円未満に限る ※2 中古品の購入は不可</p> <p>(2)消耗品費 耐用年数1年未満または取得価格が10万円(税抜き)未満のもの</p>	<p>その他 (会議費)</p> 	<p>委員会等(シンポジウム、セミナー、ワーキング・グループを含む)の開催や運営に要する会議費、会場借料、消耗品費、資料作成費、その他の経費</p>
<p>人件費・謝金</p> 	<p>(1)人件費 事業に直接従事した研究者等の人件費 ※1 個人事業主や法人の役員(会社法上の役員(取締役、監査役、会計参与等))の計上不可(研究に直接従事した場合に限り計上は可能)</p> <p>(2)謝金</p>	<p>その他 (通信運搬費)</p> 	<p>運搬料、データ通信料等</p>
<p>旅費</p> 	<p>旅費、滞在費及び交通費</p>	<p>その他 (光熱水料)</p> 	<p>補助事業の実施に直接使用する機器等の運転等に要する電気、ガス及び水道等の経費</p>
<p>外注費</p> 	<p>機械装置備品の加工やシステム構築等の外注に係る経費</p>	<p>その他 (設備施設料)</p> 	<p>機械装置等の製作・設置に付帯する電気工事等要した経費</p>
<p>その他 (印刷製本費)</p> 	<p>印刷・製本及び電子ファイル作成に要した経費 ※1 代表申請者のみ計上が可能であり、高等教育機関等は計上不可</p>	<p>その他 (諸経費)</p> 	<p>技術導入費、通訳・翻訳費、知的財産権関連経費、マーケティング調査費等</p>

FAQ

Q1 採択数は？

A.可能性調査5件程度、研究開発枠2件程度です。
なお、枠毎の応募数が採択数に満たない場合でも、厳正な外部審査の結果、全ての応募を採択するものではありません。

Q2 公募は複数回ある？

補助事業の目的・性質上、事業期間を設ける必要があるため、複数回の公募は行わない予定です。
また、採択数が採択予定数に満たない場合でも、上記の理由から複数回の公募を行う予定はありません。

Q3 審査項目の配点は？

審査項目については、公募要領P25～26で公開しておりますが、詳細な配点は非公開とさせていただきます。

Q4 申請前に発注・契約した物品は計上してよい？

全ての補助対象経費において、交付決定前に発注・契約等を行ったものは補助対象経費として計上することは出来ません。また、採択通知と交付決定は別物であり、あくまで、交付決定以降に発注・契約等を行ってください。

Q5 海外からの調達が可能？

海外からの調達も可能ですが、その場合は、見積時点で当該外貨使用の際の両替レート等を適用する等合理的な方法により計算してください。

申請フォーム・お問い合わせ先

公募情報詳細

<https://www.pref.oita.jp/site/oita-iot-lab/sentan-sangakurenkei2024.html>



説明会申し込みフォーム

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys/0666291951758231675>



申請フォーム

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/apply-procedure/2022394483163155609>



お問い合わせ先

(平日: 9:00-12:00、13:00-17:00)

大分県 商工観光労働部

先端技術挑戦課 先端技術挑戦班

TEL: 097-506-2893

メール: a14290@pref.oita.lg.jp